



ふじた こうじ
藤田幸治
棚倉町長

川越市の姉妹・友好都市の中で、いちばん古くからのつきあいです。これまで、相互訪問による交流や川越産業博覧会の参加などを行ってきました。今後も、今まで以上の活発な交流を推進していきます。



ジャネット・テラー
セーレム市長

将来を考えて、中学生交流団の受け入れや姉妹校交流などの教育交流事業を積極的に進めていきます。また、さまざまな事業を通して、セーレムと川越の姉妹都市関係を周知していきたいと考えています。



舟橋功一
川越市長

これまで重ねてきた2都市間の交流を発展させ、7都市間の交流ネットワークを築くことができたらと考えています。また、それぞれの都市の姉妹・友好都市との交流ができれば、大きな流れが生まれると思います。



「川越宣言」が発表されました

姉妹友好都市 サミット

「川越市・セーレム市姉妹都市提携二十周年式典」の第二部として「姉妹友好都市サミット」が行われました。このサミットでは、各首長がそれぞれの自治体を紹介し、川越市とのこれまでの交流についてと今後の抱負を語りました。

サミットの最後には、今後変わらぬ交流を行い、姉妹・友好都市間の相互理解を深めるための「川越宣言」が発表され、各首長による署名が行われました。署名を終えると、各首長が手を取り合い、末永く続く友好関係を確認しました。オッフエンバッハ市からは、同市からの交換留学生、ヤン・ヘートシュテックさんが参加し、「今後も両市の青少年交流に積極的に取り組んでいきたいと思えます。姉妹都市提携は、福祉・相互理解の基礎となるものと考えています」という同市長のメッセージを読みあげました。



たむらみつよし
田村光義
中札内村長

それぞれの分野で、心と心のふれあいを大切にしながら、肩の張らない友好関係を継続的に進め、住民の相互理解と親善を図っていきたくて考えています。それが、それぞれの繁栄につながると思います。



レミー・ルベロット
オータン市長

私たちが築く関係は、私たちにとってとても貴重でかけがえのないものです。少しずつ、あらゆる分野で私たちのきずなをより強いものにして、市民・団体・企業の交流を深めていきましょう。



むらかみとしお
村上利夫
小浜市長

川越藩主だった酒井忠勝公の国替えによる「ささら獅子」が取り持つ縁で、姉妹都市締結が行われました。多様な交流を通じて、相互理解と親善を深め、川越と小浜両市の友好発展につなげていきたいと考えています。

10月にはこんな交流もありました

国内3都市、さんばくに出展

10月21日・22日に行われた川越産業博覧会に、国内の姉妹・友好都市が参加しました。

各市町村のコーナーでは、地域の特産品が販売されました。棚倉町からは農産物、小浜市からは日本海で取れた魚介類、中札内村からは乳製品など、その土地ならではの品物が並びました。連日各コーナーは、特産品を求める多くの人たちでにぎわっていました。



棚倉町のテント



小浜市のテント



中札内村のテント

21日には、会場のステージで「友好姉妹都市ゆめいっぱいインフォメーション」という催しが行われました。ここでは、各市町村の皆さんがそれぞれのまちを紹介し、訪れた皆さんの注目を集めていました。

オッフェンバッハから青少年交流団来訪

10月16日から27日まで、オッフェンバッハ市の青少年交流団22人が川越を訪れました。滞在中は日本の家庭での生活を体験するためホームステイをしました。

10月24日には霞ヶ関東中学校を訪れ、授業に参加。初めは3つに分かれ、体育・英語・書道の授業を受けました。書道の授業では、手本を見ながら筆を運び、先生から「グッド!」と言われると、笑顔を見せる交流団員がいました。



先生にほめられ、にっこり



ドイツの歌を披露しました

初めは緊張していた霞ヶ関東中学校の生徒の皆さんも、身ぶり手ぶりを交えながら、会話に挑戦。意思が通じ合い、うれしそうな様子でした。

続いて1年生5クラスによる、合唱コンクールの予行練習を見学。最後に交流団の皆さんが、ドイツの歌を披露。体育館は大きな拍手で包まれ、新たな交流の1ページが書き加えられました。

姉妹・友好都市との主な交流と各都市の姉妹・友好都市

市町村名	交流事業	姉妹・友好都市
セーレム市	川越市中学生交流団 姉妹校交流	金海 (韓国)
オッフェンバッハ市	川越市中学生交流団 オッフェンバッハ市青少年交流団	リバス (ニカラグア) プトー (フランス) ほか10都市
オータン市	川越市民号 星野高校オータン市訪問	スティーブナージ (イギリス) アラベロ (スペイン) ほか1都市
棚倉町	ふるさと交流事業 ゴルフ交流大会	レイクマコーリー (オーストラリア) スパルタ (ギリシャ)
小浜市	川越市民訪問団 小浜市の物産と観光展	奈良市、富士宮市、慶州 (韓国) 西安・平湖 (中国)
中札内村	川越市少年の翼 北の大地展入賞作品展覧会	南栃市 (旧福野町・富山県)

これからも交流は続きます

左の表は、姉妹・友好都市との主な交流事業です。表にある活動のほか、さまざまな分野での交流が行われてきました。その活動は、行政にとどまらず、市民の皆さんによるものも数多くあります。

「姉妹友好都市サミット」の中で、今後も川越市との交流を深めていきたいと首長の皆さんは話しています。その中で、青少年の交流に力を入れたい、という声が多く聞かれました。それは、交流を通して得た有意義な体験が、異文化を知る、貴重な財産になるからです。

舟橋市長は、二都市間の交流から、七都市での交流ネットワークに発展させたいと話しています。二都市間での交流をより深め、その交流を七都市のネットワークへ広げる。さらに、交流の輪をそれぞれの都市の姉妹・友好都市へと広げていくことができるかもしれません。七都市のネットワークづくりが、今後の姉妹・友好都市との交流におけるキーワードになるでしょう。